

# JaNet

January 2017 No. 80

季刊ジャネット

Ja-Net は Japanese Network の略です。「にほんご」を通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。

Contents 目次

2017年1月25日発行

- View from the Other Side ..... 3  
アリエフ・アクバルさん(ウズベキスタン)
- あちこち日本語ご紹介(国内編)..... 4  
埼玉県 春日部市
- あちこち日本語ご紹介(海外編)..... 5  
ロシア アストラハン
- 教材紹介 ..... 6  
『新完全マスター語彙 日本語能力試験 N3』  
『みんなの日本語 初級II 第2版 漢字 英語版』
- なんでも情報BOX..... 8

スリーイーネットワーク

巻頭  
寄稿

## 俳優のトレーニングから生まれた 「使える」英語学習ドラマメソッド®



モデル・ランゲージ・スタジオ (MLS)  
代表取締役社長

太田雅一

モデル・ランゲージ・スタジオ(以下、MLS)は1974年に現会長の奈良橋陽子と設立した英会話学校です。当校の大きな特徴は「英語劇・ドラマメソッド®」(以下、ドラマメソッド®)を利用したコミュニケーションを重視した英語教育にあります。MLSの名前の由来は、設立の母体となったモデル・プロダクションという、大学生で作る英語劇の団体とアメリカで光輝く俳優養成所アクターズ・スタジオの名前がもとになっています。当校では、大人、子ども、また英語教員・俳優などを対象とした様々な内容、レベルの英会話コースがあります。これらのコースはドラマメソッド®をもとに作られています。

### 英語劇の演技指導をきっかけに

ドラマメソッド®とは、俳優の演劇訓練法を英語教育に応用したものです。俳優が舞台上で台詞を声に出すときは、ただ読むのではなく、舞台上で他の俳優との本当のコミュニケーションがなくてはなりません。コミュニケーション力重視の英語学習についても同様で、自分が話した英語によって相手がどのように反応するか、その相手の反応に

自分がどのように応じるのかは、覚えてだけの英語、または借り物の言葉だけでは違和感のあるコミュニケーションとなってしまいます。MLSでは本物のコミュニケーションができるような英語の「使い方」を学ぶことを目的としています。

このドラマメソッド®の誕生は、MLS設立前、1964年にブロードウェイの俳優で演出家でもあったリチャード・ヴァイア氏がアメリカ文化センターの招へいで『Hello Dolly』の日本公演の舞台監督兼責任者として来日したことが契機となりました。この舞台終了後に、ヴァイア氏はいくつかの日本の英語劇を見ることになり、ここである種のカルチャーショックを受けたようです。日本の学生の英語劇は、「発音も単語の意味もOK。しかし、コミュニケーションがない」。丸暗記に振りをつけたようなお芝居とともに、彼らの外国人になろうという意識の強さも感じました。真似から来る違和感です。これをきっかけにヴァイア氏は日本に滞在、日本の大学生たちに演技を指導することになりました。そして英語での劇の指導をする過程が、英会話力の著しい向上にもつな

がることを発見、「English Through Drama」を導入、これとともっと劇を教育的に指導する方法を考案した「スーパーステージ」(後述)を合わせ、ドラマメソッド®が誕生しました。

ヴァイア氏が行っていた演技の教え方は、当時ブロードウェイの俳優訓練ではムーヴメントとなっていました。よりナチュラルな演技を学ぶもので、ロシアの俳優・演出家のスタニスラフスキーが提唱した演技理論「スタニスラフスキー・システム」をニューヨークのアクターズ・スタジオで「メソッド演技法」として高められていったものです。このやり方をベースに、英語学習のためのドラマメソッド®を開発しました。たとえば、会話では、対話文をキャッチボールのようにして訓練します。しっかり投げて、しっかり受け取ることの繰り返しです。会話とは一方的な主張ではなく、相手の言っていることをきちんと受け止め、理解する力がなくてはなりません。人間対人間の付き合いができる「相手の共感を呼ぶコミュニケーションパワー」を育てるのがドラマメソッド®です。その特徴の一例を紹介します。



左：声を出しながら、アクティブに楽しく学ぶ小学生クラス

右：ブロードウェイミュージカル“Into the Woods”上演模様

### ドラマメソッド®の特徴

ドラマメソッド®では外国語の学習に重要な「読む」「書く」「聞く」「話す」を重視し、さらに話せるようにするためにこの4技能とは別の5つ目の力としての「コミュニケーション能力」を5技能と考え、説得力や、微妙なニュアンスを伝える表現力などを身につけていきます。素直に自分を表現すること、相手が話しているときはよく聞き、相手のメッセージをしっかりと理解する、相手の働きかけに対して自然な反応をすること、これらのコミュニケーションの基本となるスキルを大切に、英語でそれができるとを目標としています。MLSでは英語でのミュージカルもやっていますが、普通のクラスではミュージカルのような大げさな表現は必要ありません。

コースはニーズに合わせて様々ですが、コミュニケーションを重視した英会話コースでは、「簡単な英語がいい」というスタンスをとっています。なぜかという、簡単な英語は身につくからです。身につけていない、借り物の表現では、自分の言いたいことを自信を持って相手に伝えることはできません。言うまでもありませんが、小学校高学年くらいになれば、言葉の仕組みが理解できるようになりますから、文法もしっかり教えていきます。学習する人の文法の出来次第で、指導のアプローチが変わってきます。

### 授業の進め方

教師の役割の一例を紹介します。教師は会話をオリジナルテキストで教えます。ひとつの会話文を教えるときには、相手の目を見て、アイコンタクトをとりながらテキストを読みます。その後、高いピッチで読んだり、低いピッチで読んだりします。感情や表現などは、本当に話すときの、もっとも適当な表現をめざします。同じ一文でも場所や立場、環境が違えば表現が異なります。リラックスした状態を作り、自信を持って話せるように、事前に発音などを練習しておくことなど、教師のやり方が非常に重要です。教師

の一言で、生徒がリラックスし、緊張もします。「ドラマ」というところに抵抗感を持つ生徒さんもありますが、大切なのは「Showing」ではなく、「Doing」。教師は「Doing」の英会話の授業作りをしなければなりません。生徒には自分自身の英語でやってみよう、外国人にならなくても、他人にならなくてもよいことを授業の過程で伝えていきます。また教師は、ひとりひとりの生徒が受け身ではなく、積極的に参加する状況を作っていきます。このことによって学びはより成果を上げると思います。そのサポートをするのが教師です。

### 発話機会の作り方 スーパーステージ

言うまでもありませんが、プロへの演技指導と、それを教育に応用したときでは、指導に大きな違いがあります。プロの俳優の世界は実力主義です。厳然とした主役、脇役がいます。たとえば、MLSには設立当時より、英語劇を作るコースがありますが、その発表会では、主役の生徒は台詞が多く、脇役は一行だけという不均衡がありました。主役で台詞の多い生徒の方が、英語学習の成果が大きく、少ない生徒は成果が少ないのも事実でした。主役になると学習成果がより高いということでは問題があります。教育は機会均等ということを思い出し、試行錯誤し英語劇のやり方を工夫することにしました。

普通、劇というと、キャスティングが前もって決まっているものです。極端な例ですが、MLSの「スーパーステージ」の英語劇の発表会では、キャスティングを発表会の当日に行うこともあります。この場合、キャスティングは当日発表会を見に来てくださった保護者の方々にくじ引きをお願いしました。ひとつの劇が長くて12分くらいの台本です。生徒たちは発表会までにこの台本をすべて覚えます。そして学習する中で、本当の英語でのコミュニケーションを身につけていきます。誰が主役になるか分からない、どの役が当たっても、それをできるように練習し

ていくことになります。役によって立場や状況、性格やその時の感情が異なり、それぞれの役の台詞とともに、英語の発音、話すときの態度などについて、より適切な表現を学んでいきます。この発表会は1コースで数回行い、なるべく参加する生徒全員に主役の機会が与えられるようにします。小学校4年生から始められる指導法ですが、脇役だった生徒が主役にあたりたりすると、大喜びしています。「誰でも主役になれる」、この喜びが教育の原点ではなからうかと感じるとともに、先に書いたプロの劇、商業演劇との大きな違い、教育としての英語劇の中で得られる「喜び」には大きな意味があると感じました。

「スーパーステージ」は、生徒たちが学んだ文法や単語を生かし、英語でのコミュニケーション能力を育てていくのが目的です。リチャード・ヴァイアが作った「English Through Drama」とMLSで開発した「スーパーステージ」はドラマメソッド®となりましたが、MLSではこれらを今後さらに進化させていきたいと考えています。現在は中学、高校の英語教師の方々にも、この方法を教えています。いろいろな現場で使えるようにテキストとマニュアルを準備しているところです。英語学習はもちろんのこと、英語学習を通しコミュニケーションを学び、真に使える英語力を育てる、全世界で使える手法を日本から発信していきたいと考えています。

太田雅一 おおた まさかず

MLS 代表取締役社長。中央大学法学部卒業。大学在学中に「東京学生英語劇連盟(MP)」に参加した経験をもとに、ドラマメソッド®を使ったMLSを奈良橋陽子とともに設立。著書に『英語で学ぶ25のゲームと15のダイアログ集』(共著、ピアソン・エデュケーション)、『小中学校向け英語劇脚本セット』(MLS)、『小学校学級担任のための楽しい英語の授業マニュアル』(共著、ジャパントイズム)などがある。

このコラムでは、学習者の視点での話題をお届けします

## 日本留学、目標は成長

—ウズベキスタンのアクバルさんに日本での学生生活について聞きました。

**—日本留学のきっかけは何だったのでしょうか。**

私はウズベク人で、ウズベク語とロシア語、それと英語を少し話します。日本に来て2年になります。学校で勉強したり、アルバイトをしたりして、過ごしています。

ウズベキスタンの高校に入学するまで、日本には興味がありませんでした。高校でアジアの言葉を学ぶことになり、そこでは中国語を選択したかったのですが、定員を超えてしまい受講することができませんでした。中国語は中国に留学するウズベク人も多く、人気がありました。そのようなわけで、トルコ語か日本語のどちらかを選択することになりました。そのころは特別な目的もなく、どの国の言葉でもなんでもよかったです。

高校の日本語クラスで日本に留学していたウズベク人が先生になり、その先生との出会いが留学のきっかけとなりました。そのころ私が知っている日本のものは、マンガくらいでした。日本のアニメは漢字が使われていたので、中国のものだと思っていました。

ウズベク人の先生から日本の学校のこと、アルバイトのこと、日本での生活のいろいろな話を聞いて、おもしろそうだと思います。また日本で自分が成長できると思いました。不思議なのですが、留学の目的ができて、日本語以外のいろいろな教科の勉強もたくさんするようになりました。

**—日本語学校で勉強されたんですね。**

日本留学ということで、千葉県にある市川日本語学院に入学しました。日本語学校のクラスには、私と同じ留学生がいろいろな国から来ていました。ベトナム、中国、ネパール、インドなど、いろいろな国の人と友達になれました。とくに中国人とベトナム人が多かったです。私に後輩ができれば教えたいです。日本に来るのだったら、来日前に中国



### アリエフ・アクバル

ウズベキスタン、タシュケント生まれの21歳。ウズベキスタンの高校を卒業して、2014年7月4日来日。市川日本語学院で1年半日本語を学習、現在は日本経済大学で学ぶ。好きな日本の食べ物にはラーメン。

語とベトナム語を勉強した方が良いと。冗談です。

日本語学校での授業はとても楽しかったです。ウズベキスタンでは日本語能力試験N3レベルの文法や『みんなの日本語 中級I』を使って勉強していましたが、日本語学校に入学した時点では『みんなの日本語 初級II』のクラスに入りました。漢字が読めなかったし、書けませんでしたから。

入学して半年がたち、ひとつ上のレベルのクラスになりました。このクラスには、はじめのクラスよりも、もっといろいろな国からの留学生が集まっていました。先生もおもしろかったです。

クラスメートと先生がおもしろくて、勉強もやる気になりました。そしてクラスの楽しい雰囲気を大事にしようと思いました。雰囲気がいいと、やる気が出ます。このクラスの先生とクラスメートのおかげで日本語を観察するようにもなりました。日本語で冗談を言

うのが楽しかったです。

**—大学の勉強はいかがですか。**

昨年の4月から日本経済大学の経営学部で勉強しています。履修登録は大変でした。入学前にはどんな人と会えるのか、どんな先生がいるのか、ロシア語を話せる人があるのか、わくわく、どきどきしましたが、いま同級生にはロシア語を話す人はいません。大学では日本語か英語を使っています。

大学生生活は楽しくて、日本人、中国人、ネパール人など新しい友人もできました。授業は簿記が難しいです。

日本語については、雑誌をすらすら読めるようになりたいと思っているので、雑誌を使って漢字の勉強をしています。雑誌をひらき、読めない漢字を飛ばしながら読むのですが、ときどき気になる漢字を見つけたとき、それを調べるようにしています。日本語能力試験N2の問題集も使っています。また、単語がわかっても、文章が長くなると文の意味がわからなくなることがあるので、なんとかしたいとも思っています。

**—日本の生活について**

日本での一日の生活は午前中は学校、午後は自分の時間、夜はアルバイトで大変ですし、我慢することも多いです。日本の若い人と友達になるのは難しいです。もう少し、オープンに、もう少しだけ優しくしてくれればいいのと思います。

たとえば人に道を聞いて、冷たくされたとき、気持ちが悪くなる時があります。そのようなときは、コンビニなどのお店に入り、店員に道を聞きます。店員はとても親切に教えてくれます。

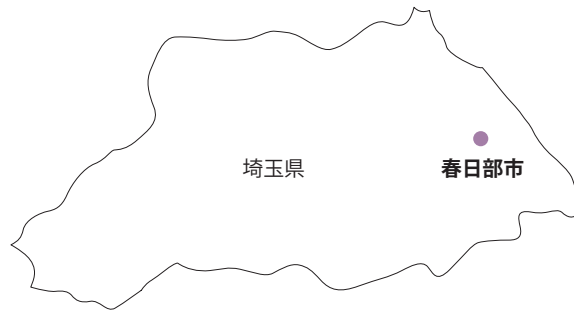
このようなこともありましたが、今は日本人の友人もできて、よかったですと思っています。



日本語ご紹介

国内編

埼玉県 春日部市



## 共に学ぶ気持ちを大切に

春日部市国際交流協会

我妻智明

春日部市は埼玉県の東部に位置し、江戸時代は日光街道の宿場町として栄え、今日でも所々にその面影を残しています。

南北方向には東武伊勢崎線と国道4号・4号バイパスが縦断し、東西方向には、東武野田線と国道16号が横断する首都圏の交通の要衝として、人口約23万6千人を有する埼玉県の中核都市です。そして、世界的に有名な「クレヨンしんちゃん」の町です。

### 春日部市国際交流協会の取り組み

春日部市国際交流協会では日本語教室を平成7年2月から開講し、平成10年4月から春日部市との共催事業として実施しています。目的は春日部市内外に居住する外国人が、市民生活を送るために必要な日本語学習の機会を提供することです。そしてボランティアスタッフと受講生が、共に学ぶことをスタッフの心得としています。

当協会では、毎年「外国人による日本語スピーチコンテスト」を開催し、今年度、第21回目が2月12日(日)に開催されます。コンテストには春日部市内外の日本語教室や大学、高校で学ぶ外国人が参加しています。聴講者は200人を超える盛況ぶりです。

また、多くの人が日本語教室のスタッフとして参加できるよう、年に2回、外部講師を招いた講義や、ボランティアとしての心構えなどを勉強する日本語ボランティアスタッフ養成講座を開催しています。

この他に、教育委員会からの依頼を受け、市内小中学校で学ぶ外国人の子ども達への日本語学習支援や、平成26年から2年間、春日部市が受け入れた第三国定住難民への日本語学習支援も行うなど、多岐にわたり活動しています。

日本語教室は木曜日と土曜日の週2回で年3期(1期10回)の開講です。

### 木曜教室

毎週木曜日19時から21時に開講しています。参加者数は、スタッフが25～30名で、学生から定年後の方まで、幅広い年齢の方が活動しています。受講生の数には幅がありますが、ここ1年ほどは約20名で、多い時は30名を超えます。20代の方が多いようですが、最近では小学生の学習者も増えていて、会場は毎回とても賑やかです。

時間的に、受講生もスタッフも仕事帰りの方が多く、設営と片付けは教室内を班で分けて持ち回りで行う、新学期開講前にスタッフ会議を開くなど、なるべくスタッフ全員が運営に関わることを心掛けています。

各学期の最後には修了パーティを行います。お料理の持ち寄りや飾りつけなど、全員で協力し、司会は受講生が行います。大変なこともあります、大勢で協力して教室を運営し、受講生と交流することは楽しく、やりがいを感じる場所です。

### 土曜教室

毎週土曜日14時から16時に開講しています。スタッフは平均25名、受講生は平均22名で、中国、フィリピン、ベトナムの方が多く参加しています。

内容は、小中学生には学校の授業の学習支援、進路選択の相談、結婚を機に来日した方には、子どもの学校からのお知らせが理解できるように生活日本語を、日本語能力試験を目指している技能実習生・就労者等には、その学習支援など、十人十色です。

受講生の要望に如何に応えるか、マンツーマンでの交流の醍醐味でもあります。日本語教室独自の教材もありますが、それにとらわれることなく、受講生ファーストで取り組



昨年のスピーチコンテストの参加者と来賓、審査員の皆さん

んでいます。各学期の最後には、茶道、折り紙、大正琴、民謡等の日本文化体験や救命講習を実施しています。

様々な学びを通し、日本語の運用力を上げることで、生活で直面する問題を自力で解決できるようになっていく受講生は、見ていて頼もしい限りです。

### これからの課題

日本語教室に参加した受講生が各自の目的を達成した時、教室から離れていく、卒業していくことは教室としての役割を果たせたということによって喜ばしいことです。今後は、当協会の目的である「外国人と市民との幅広い友好的な交流」を推進するためにも、今以上に、日本語教室卒業後も継続して、幅広く交流が続くような取り組みを企画していきたいと考えています。



日本語ボランティアスタッフ養成講座のようす



日本語ご紹介

海外編

ロシア アストラハン



## 多民族、多文化の中の日本語学習

アストラハン国立大学外国語学部東洋学科

日本語教師 長谷川里子

### 通商路の交差点アストラハン

ロシア連邦アストラハン州は、ヨーロッパ、中央アジア、近東の境目に位置し、複数の文化と民族を擁する通商路の交差点です。自然や気候、豊富な天然資源に恵まれ、漁業・機械産業・エネルギー資源産業で知られています。州内にはヨーロッパ最大の硫黄・天然ガスの生産地があり、世界の上位にのぼる生産量を誇ります。

アストラハンは時に、「釣りの都」と呼ばれます。ヴォルガ河口部とカスピ海には、世界のチョウザメの90パーセント以上が生息しています。そのほか、水浴、釣り、猟や名物のアストラハン西瓜を求めて、毎年、沢山の観光客が訪れています。ここには120以上の民族、12以上の宗教があり、キリスト教の春の祭り、復活祭からチュルク系住民の夏祭り、イスラムの犠牲祭まで10以上の民族の祝日を共に祝います。自分と異なる外見や文化を持つ人を寛容に受け入れてくれる、とても暮らしやすい街です。

### アストラハン国立大学

アストラハン国立大学日本語学科は、元は英語と日本語の話せるエンジニアを養成するため、翻訳会社と共同で開設されました。その後、日・英・露の技術用語辞典を出版し、企業文化を学ぶため、経営陣・教授陣が日本でインターンシップに参加しました。日本的経営を重んじる学長によって、現在、大学運営は「トヨタ式」で行われ、毎年大学関係者全員を集めた「カイゼン」セミナーが開かれています。このような経緯で生まれた日本語学科は今年で8年目を迎えます。現在は東洋学科に編成され、2014年からは日本語能力試験(以下、JLPT)の実



日本文化祭で折り鶴を作る市民の方々

施機関となっています。学科としてはまだ歴史が浅いですが、ロシア南部の日本語教育・日本文化普及の中心地として成長しつつあります。

学生はアストラハン地方で生まれたタタール人、ロシア人、ジョージア人、カザフ人、クリミア人、カルムイキア人(ロシアの仏教徒)、モルドビア人と民族色豊かです。特にカルムイキア人は、日本人と顔が似ているため、日本関係のイベントでは必ず日本人に間違われます。授業はロシア語で進められることが大半で、学生は現在、3年生と5年生、そして副専攻を含め27名と多くありません。

### 市民も楽しめるイベントを開催

授業は、一般日本語、日本文化、日本史、日本政治事情、ビジネスマナー講座、日本地理など多岐にわたります。学生には、日本史、日本政治事情、ビジネスマナー講座など特色ある科目の人気があり、授業では学生自身の発表(ロシア語可)を取り入れるため、日本語が苦手な学生も積極的に参加しています。JLPTは、各クラスで授業中に傾向と対策を何回か取り入れています。これまで、合格したことで企業採用や国費留学がなかったという実績はまだありませんが、来年度は、本学から周りに刺激を与えられるような合格者が出るよう積極的に受験することを働きかけたいと思います。

大学は、講義や実習だけではなく、学生

自身の才能を開花させ、これまで挑戦していたと思っていたことを実現できる様々なイベント・学会・集会があります。東洋学科では、「日本映画・文化祭」「演劇フェス」を企画実施しており、学生と教師が様々な飾り付けや出し物を準備し、今やすっかり市民公認イベントです。

このイベントがきっかけで、先輩・後輩の関係が構築され、学生達は自分たちで問題解決する力が養われました。留学のための書類作成や教材印刷などは全て学生同士が協力しあって行い、最近では自分たちでテキストの要約・翻訳文、新出語彙リストなどを作成し、教師の代わりに授業を進めるスタイルもこなせるようになりました。

### 今後の展望

本学の学生にとって、将来日本語を活かした就職のチャンスは非常に限られています。一方、資源豊富なアストラハン州自体は、多種のビジネスを進めるのに極めて展望が開けた地域だといえます。そのため、言語を使って仕事するという目的に限定せず、多種にわたる専門領域で活躍できるよう、学生個人の成長と、クリエイティブな発想による多様な可能性を引き出すような場にしたいと思っています。今後もアストラハンの皆様にも少しでも日本を感じてもらうために、尽力していきたいと思っています。

## 新完全マスター語彙 日本語能力試験 N3

伊能裕晃・本田ゆかり・来栖里美・前坊香菜子 著  
B5判 155頁(予定) 別冊17頁 1,200円+税 4月発行予定

**NOW  
PRINTING**

## 語彙N3がついに登場! 英語・中国語の翻訳付き

東京学芸大学 非常勤講師 伊能裕晃

日本語教育の仕事に携わっていると、「語彙の学び方／教え方がわからない」といった声を聞くことがあります。また、日本語能力試験については、「初級が終わっても、N3のレベルに全然達していない」「N3の試験の語彙が思ったより難しい」といった声を聞くこともあります。

『完全マスター語彙 日本語能力試験 N3』は、日本語の語彙の研究者と日本語学校や大学で教鞭をとる現役の日本語教師が、上記のような声に応えるべく、知恵を出し合って作った日本語能力試験対策のための教材です。以下に、本書の特徴を4つの観点からご説明したいと思います。

## 1. 試験に出題される可能性が高い語彙を学ぶ

現在、「新しい日本語能力試験」(以下「新試験」)に出題される語彙のリストは、公開されていませんが、その作成過程は、論文という形で公開されています。本書の執筆に当たり、私たちは、試験に出る可能性の高い語を選出するため、新試験の語彙リスト作成の際に使用されたのと同様の資料を用い、同様の手順を踏んで、語彙リストを作成しました。

本書の執筆の際に、他社から出版されている類書も検討させていただいたのですが、その語彙リストは、旧試験の3級の焼き直し(つまり、N4相当)だったり、裏付けもなく語彙を選んでのものだったり、試験対策の教材としては、問題があるものも少なくありませんでした。N3の試験では、語彙の問題は21問(「文脈規定」11問、「言い換え類義」5問、「用法」5問)出題されますが、

せっかく語彙の教材を使って勉強しても、勉強した語がほとんど試験に出題されないのでは、意味がありません。本書の語彙リストと、実際に試験で出題された語を比べていただければ、本書が試験対策に有効な教材であるとご理解いただけるものと思います。

## 2. 豊富な練習問題を通して、語彙を学ぶ

一般に、日本語能力試験対策の語彙の教材は、練習問題が少ないものがほとんどです。語彙リストに語がたくさん並んでいても、練習問題では一部の語しか取り上げず、残りの語にはまったく触れないといった教材もあります。本書が類書と一番異なる点は、練習問題の数の多さ、そして、種類の多さだと思います。語を学ぶ際には、意味はもちろんですが、助詞、接続、コロケーション、文体差など、その語の特徴を捉えて、学んでいく必要があります。また、「文脈規定」「用法」などの問題には、意味がわかっている、コロケーションや助詞などの知識がなければ、解けない問題があります。本書では、試験に必要な語彙力養成のため、まず、多種多様な問題を通して、語の特徴を学び、その後に、試験形式の問題で実践的な練習ができるようになっています。

## 3. 自然で有用性の高い例文を通して、語彙を学ぶ

本書では、例文や問題文を作る際に、インターネット上の大規模言語データベース(コーパス)を利用しています。これにより、語をよく使われている文脈の中で、より自然な形で提示することができるようになりました。新試験でも同様に、独自のコーパスを

使用し、問題作成をしているとのことですので、新試験の問題に、本書の例文や問題文と類似のものが出題されることもあるのではないかと考えています。

## 4. 話題別、性質別に語彙を学ぶ

新試験では、どのような状況(目標言語使用領域)で、何のために(課題)、日本語を使うかということが重視されていますが、本書もこれを踏まえ、学習者が接する状況や課題を想定し、「食生活」「病気」「仕事」など話題別に語を学ぶ章を設けました(本書第1部)。また、「語形成」「オノマトペ」など、新試験で見直しが行われた項目や、点差の付きやすい「副詞」、特に学習者にとって難しい「間違えやすい漢語」など、試験対策という観点から、語を性質別に学ぶ章も設けました。(本書第2部)。

本書を多くの方が手に取り、N3の試験でよい成績を収められることを切に願ってやみません。

## 本書の構成

## 実力養成編

## 第1部 話題別に言葉を学ぼう

人間関係／生活／体／趣味と旅行／教育／仕事／社会／自然／数、量、時間(全21課)

## 第2部 性質別に言葉を学ぼう

和語動詞／漢語動詞／形容詞／副詞／オノマトペ／間違えやすい漢語／言い換え類義／語形成(全8課)

## 模擬試験 2回





# なんでも情報 BOX

## Books ほん

すべて本体価格です

みんなの日本語 初級II 第2版 漢字 英語版	3月発行予定	1,800円
新訂版 読むトレーニング 応用編 日本留学試験対応	3月発行予定	1,400円
新完全マスター語彙 日本語能力試験 N3	4月発行予定	1,200円

## Seminars セミナー

総合的な日本語力養成につながる聴解授業  
—『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ  
聴解』を使って—

講師：大木理恵（東京外国語大学留学生日本語  
教育センター講師）

日時：3月4日（土）14：00-16：00  
（受付開始 13：30）

会場：ECC 日本語学院 名古屋校（名古屋市中区  
金山 1-16-16）

定員：60名（先着順。定員になり次第締め切  
ります）

参加費：無料

問合せ／申込み先：スリーエーネットワーク

主催：スリーエーネットワーク

協力：ECC 日本語学院 名古屋校

『日本語教育のスタートライン—本気で日本語教  
師を目指す人のための入門書』発行記念セミナー  
地域でも、学校でも「プロフェッショナル」な日  
本語教師を目指すために in 名古屋

講師：荒川洋平（東京外国語大学国際日本学研  
究院教授）

日時：3月5日（日）14：00-17：30  
（受付開始 13：30）

会場：ウインクあいち 会議室 1103  
（名古屋市中村区名駅 4丁目 4-38 愛知県  
産業労働センター）

定員：80名（先着順。定員になり次第締め切  
ります）

対象：日本語教師を目指している方・日本語教  
育の経験の浅い方

参加費：2000円

※当日受付でお支払いください。一度お  
支払いいただいた参加費はご返金できま  
せんので、ご了承ください。

問合せ／申込み先：スリーエーネットワーク

お申込みの際は、右記の必要事項に加え、  
「日本語教授歴」「この講座に期待するこ  
と」を明記してください。

主 催：スリーエーネットワーク

能動的な読み書きの力を養う中級の指導

—『改訂版 日本語中級 J301 —中級前期—英語  
版』を使って—

講師：関正昭（元東海大学教授）

外崎淑子（東海大学准教授）

日時：3月25日（土）14：00-16：00  
（受付開始 13：30）

会場：TKP 麴町駅前会議室ホール 8A  
（東京都千代田区麴町 3-2 麴町共同ビル  
8階）

定員：80名（先着順。定員になり次第締め切  
ります）

参加費：無料

問合せ／申込み先：スリーエーネットワーク

主催：スリーエーネットワーク

初級終了後の語彙指導にどう取り組んだらいいか  
—『新完全マスター単語 日本語能力試験 N3  
重要 1800語』を使って—

講師：鈴木英子（国際善隣学院非常勤講師）

田川麻央（明海大学複言語複文化教育セ  
ンター講師）

日時：4月1日（土）14：00-16：00  
（受付開始 13：30）

会場：TKP 麴町駅前会議室ホール 8A  
（東京都千代田区麴町 3-2 麴町共同ビル  
8階）

定員：80名（先着順。定員になり次第締め切  
ります）

参加費：無料

問合せ／申込み先：スリーエーネットワーク

お申込みの際は、下記の必要事項に加え、  
「日本語教授歴」を明記してください。

主催：スリーエーネットワーク

セミナーに関する問合せ / 申込み先

スリーエーネットワーク講座係

102-0083 東京都千代田区麴町 3-4

TEL : 03-5275-2722 FAX : 03-5275-

2729 E-Mail : kouza@3anet.co.jp

お申込みの際は、参加を希望するセミナー  
名・お名前・ご所属・ご住所・お電話番号  
を明記してください。電話での申込みはお  
受けできませんので、FAX、E-Mail、はがき  
にてお申込みください。

## Information お知らせ

「みんなの日本語かるた」採用作品発表！

Ja-Net78号で募集しました「みんなの日本語か  
るた」の採用作品が決まりました。おかげさま  
で「みんなの日本語」にちなんだ、楽しい句が集  
まりました。多くの皆様にご応募いただき、誠  
にありがとうございました。

ダウンロードして使っていただける「みんな  
の日本語かるた」の絵札・読み札は4月に当社  
ウェブサイトで公開予定です。

Ja-Net 発行 20周年を迎えます

Ja-Netは1997年4月25日に創刊号を発行し、  
今年20周年を迎えます。

これもひとえに読者の皆様と支えてくださ  
った皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。  
これからも「にほんご」を通して、日本語を学ぶ  
方と支援する方をつなぐ、ネットワークをつくら  
せていきたいと思っております。

今後ともよろしくお願い致します。

Ja-Net No. 80  
季刊ジャネット

スリーエーネットワークという社名は、アジア (Asia)、  
アフリカ (Africa)、ラテン・アメリカ (Latin America)  
の三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友  
好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2017年1月25日発行

●発行人 藤崎政子

●発行所 (株)スリーエーネットワーク

Ja-Net 編集室

〒102-0083 東京都千代田区麴町 3-4

トラスティ麴町ビル 2F

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-mail: sales@3anet.co.jp

http://www.3anet.co.jp/

●印刷 日本印刷(株)

© 2017 by 3A Corporation Printed in Japan

(禁断転載)

●『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編  
集室までお知らせください。無料でお送りいたします。  
『Ja-Net』第81号は2017年4月25日発行です。